



2023年度

東京音楽大学大学院音楽研究科

科目等履修生募集要項

【一般】

目 次

I 科目等履修生概要

- 1 [出願資格](#) 1
- 2 [科目等履修生 I \(音楽家養成コース\)](#) 1
- 3 [科目等履修生 II](#) 1

II 指導教員 2

III 試験概要

- 1 [募集人員](#) 4
- 2 [試験場](#) 4
- 3 [選抜方法](#) 5
- 4 [日程一覧](#) 5
- 5 [試験科目](#) 6
- 6 [出願手続](#) 12
- 7 [合格発表](#) 15
- 8 [問い合わせ先](#) 15

IV 登録手続

- 1 [登録手続](#) 15
- 2 [学費](#) 16

V 個人情報の取り扱いについて 16

I

科目等履修生概要

東京音楽大学大学院音楽研究科科目等履修生は東京音楽大学大学院学則第37条、第38条に基づき、単位の修得を目的として修士課程の科目を履修するほか、演奏、特定の研究分野等の研究指導を受ける。なお、科目等履修生の登録は正規大学院生の教育研究に支障のない範囲内で許可される。

1 出願資格

次のうち、いずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者または2023年3月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2023年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2023年3月までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※⑤の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。2022年11月11日(金)までに所定の申請書をご提出ください。

2 科目等履修生Ⅰ（音楽家養成コース）

(1) 概要

科目等履修生Ⅰ（音楽家養成コース）は実技科目の単位の修得を目的とする。

(2) 履修科目（p.4参照）

履修科目及び付与単位数は大学院音楽研究科カリキュラムを準用する。

(3) 履修期間

履修期間は1年間とする。ただし、継続して履修する場合は、研究科委員会の許可を得て通算2年の範囲内で期間を延長することができる。科目等履修生Ⅱの履修期間はⅠの年限に通算しない。

(4) 履修単位の上限

履修2年間で、10単位を上限とする。

(5) 単位認定

履修した科目について単位の認定を受けるには、当該科目の試験等を受け、合格する必要がある。また、履修した科目が単位認定された場合、履修者の願い出により成績証明書を交付する。

3 科目等履修生Ⅱ

(1) 概要

科目等履修生Ⅱは特定の研究課題についての研究を目的とし、単位は付与しない。

(2) 履修期間

期間は1年間とする。ただし、継続を希望する場合は、研究科委員会の許可を得て通算2年の範囲内で期間を延長することができる。科目等履修生Ⅰの履修期間はⅡの年限に通算しない。

II 指導教員

大学院科目等履修生担当教員（2022年度）

専攻	研究領域	細専攻区分	教員名
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	石井 克典、大竹 紀子、岡田 敦子、佐藤 俊、東 誠三、菊地 麗子、 迫 昭嘉、鷺見 加寿子、武田 真理、播本 枝未子、村上 隆、若林 顕、 小川 典子、石附 秀美、御邊 典一、川上 昌裕、川島 基、倉沢 仁子、 小高 明子、広瀬 宣行、石井 理恵、稲田 潤子、長川 晶子、菊地 裕介、 仲田 みずほ、渚 智佳、西川 秀人、吉田 友昭、佐藤 彦大、浜野 与志男 ほか
		オルガン	徳岡 めぐみ
		チェンバロ	大塚 直哉
		伴奏	山洞 智、広瀬 宣行、御邊 典一、ピアノ担当教員 ほか
	弦楽器	ヴァイオリン	荒井 英治、大谷 康子、神尾 真由子、木野 雅之、竹澤 恭子、山口 裕之、 海野 義雄、篠崎 功子、瀬戸 瑠子、藤原 浜雄、小栗 まち絵、原田 幸一郎、 中村 静香、横山 俊朗 ほか
		ヴィオラ	店村 眞積、百武 由紀、大野 かおる
		チェロ	荻田 雅治、ドミトリー・フェイギン、鈴木 秀美、毛利 伯郎、山本 裕康 ほか
		コントラバス	星 秀樹、吉田 秀、永島 義男、西山 真二
		ハープ	篠崎 史子
		クラシックギター	荘村 清志、江間 常夫
	管打楽器	木管	小串 俊寿、工藤 重典、四戸 世紀、宮本 文昭、水谷 上総、中野 真理、 古部 賢一、野田 祐介、伊藤 圭、松本 健司 ほか
		金管	アンドレ・アンリ、栗田 雅勝、外圍 祥一郎、津堅 直弘、水野 信行、杉本 正毅、 福川 伸陽、新田 幹男、次田 心平 ほか
		打楽器	神谷 百子、菅原 淳、久保 昌一 ほか
	室内楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器	鍵盤楽器研究領域ピアノ担当教員 弦楽器研究領域担当教員 管打楽器研究領域担当教員

専攻	研究領域	教員名
声楽	独唱	釜洞 祐子、菅 有実子、小森 輝彦、服部 洋一、水野 貴子、横山 恵子、志村 文彦、 佐野 成宏、秋山 隆典、木下 美穂子、立原 ちえ子、伊達 英二、星 洋二、緑川 まり ほか
作曲指揮	作曲	糺場 富美子、西村 朗、野平 一郎、藤原 豊、細川 俊夫、中橋 愛生、原田 敬子、有馬 純寿 ほか
	指揮	田代 俊文、広上 淳一、増井 信貴、石坂 宏、加納 明洋、三河 正典、三原 明人、米津 俊広 ほか
音楽文化 研究	音楽学*	坂崎 則子、武石 みどり、藤田 茂、村田 千尋
	ソルフェージュ	糺場 富美子、伊藤 節子、日野原 秀彦、福士 則夫、荒尾 岳児、岡島 礼
	多文化音楽	金城 厚、糺場 富美子、藤原 豊、加藤 富美子、小日向 英俊、滝田 美智子、 劉 継紅、福田 裕美、ウメバエワ カリマン、柿塚 香、菊池 大、木村 佳代、樋口 文子、 杉浦 孝夫、千葉 伸彦、針生 すぐり、毛 ヲ、水戸 茂雄、アヨーシ バトエルデネ、王 明君

*科目等履修生Ⅱの指導担当

Ⅲ 試験概要

1 募集人員

種別	専攻	研究領域	科目	募集人員
科目等履修生Ⅰ (音楽家養成コース)	器楽	鍵盤楽器	器楽実習	各専攻 とも若干 名
		弦楽器	器楽実習	
		管打楽器	器楽実習	
		室内楽(※1)	室内楽実習	
	声乐	独唱	声乐実習	
	作曲指揮	作曲	作曲実習(※2)	
		指揮	指揮実習	
	音楽文化研究	ソルフェージュ	ソルフェージュ研究実習	
		多文化音楽	邦楽・古楽・民族楽器実習	
科目等履修生Ⅱ	器楽 声乐 作曲指揮	各研究領域 (音楽学を除く)	論文作成	
	音楽文化研究	音楽学	音楽学実習	

(※1) 器楽専攻「室内楽」は2名以上6名以内の構成。グループ選抜を行う。

(※2) 作曲研究領域については出願時に、現代音楽中心の「芸術研究」か、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」のいずれかを選択してください。

2 試験場

東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス 〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

池袋キャンパス 〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5

※試験場には必ず受験票(共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー)を持参し、守衛室に呈示して入構してください。

3 選抜方法

●科目等履修生Ⅰ(音楽家養成コース)については、実技試験、作品審査、論文審査、面接(他大学出身者のみ)及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

東京音楽大学在学学生は、内部進学者用の要項を参照してください。

●科目等履修生Ⅱについては、小論文、口述試問及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

4 日程一覧

出願および検定料振込期間(検定料 20,000円)

2022年12月8日(木)～12月15日(木)(消印有効)

試験期間

2023年2月20日(月)～2月22日(水)

試験 日程	2023年 2月20日(月)	声乐専攻 器楽専攻 鍵盤楽器(伴奏)	実技試験・面接
	2023年 2月21日(火)	器楽専攻 鍵盤楽器(ピアノ) 弦楽器 管打楽器	実技試験・面接
合格発表		2023年2月27日(月)15:00～3月1日(水)17:00	
登録手続期間		2023年3月1日(水)～3月11日(土)(消印有効)	

※次の領域等の試験日程は出願状況により決定します。

器楽専攻鍵盤楽器研究領域(オルガン・チェンバロ)、器楽専攻室内楽研究領域、
作曲指揮専攻、音楽文化研究専攻、科目等履修生Ⅱ

※出願状況により、実技試験の日程が変更されることがあります。

※指揮研究領域については、一部の試験を2月19日(日)に実施する可能性があります。

5 試験科目

科目等履修生Ⅰ（音楽家養成コース）

●実技試験:原則として、2023年度大学院音楽研究科修士課程入学試験に準ずる。
専攻別課題(p.7～11)を参照のこと。

- ・願書受付後、受験曲や志望する専攻の変更は認めません。
- ・演奏は暗譜で行ってください。ただし、当日、演奏箇所が指定される場合がありますので、試験会場まで楽譜をお持ちください。なお、鍵盤楽器研究領域(伴奏、オルガン、チェンバロ)、管打楽器研究領域(打楽器)及び室内楽研究領域の演奏実技は暗譜の必要はありません。
- ・伴奏者、譜めくりを必要とする場合は、志願者が同伴してください。伴奏はピアノ伴奏のみとします。伴奏者及び譜めくりは受験者の責任と負担で用意することとします。

●面接

科目等履修生Ⅱ

●小論文及び口述試問

科目等履修生 I 専攻別課題表

器楽専攻

鍵盤楽器	ピアノ	<p>1. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。</p> <p>(1) J.S. バッハ:平均律クラヴィーア曲集第 I・II 巻より任意の1曲 ※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。</p> <p>(2) 下記のエチュードより任意の1曲 ショパン、リスト、ラフマニノフ、ドビュッシー、スクリャービン、バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、メシアン、リゲティ、カプースチン</p> <p>2. バロック・古典・ロマン・近現代期より異なった2つ以上の時代から任意の2曲以上。楽章の抜粋可。 ※1と2を合わせて、15分以内にまとめ、記載した順序で暗譜で演奏すること。繰り返しは任意。</p>
	オルガン	<p>1. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。</p> <p>(1) J. S. バッハ:18 コラール集の以下の作品から任意の1曲 BWV 652, 653, 654, 659, 662, 663</p> <p>(2) フランス古典音楽のクロモルヌ・アン・タイユもしくはティエルス・アン・タイユの任意の1曲</p> <p>2. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。</p> <p>(1) D. ブクステフーデ、N. ブルーンズ、V. リューベックの大規模な Praeludium または Toccata(ペダル付)から任意の1曲</p> <p>(2) J. S. バッハの以下の作品から任意の1曲 BWV 532, 535, 537~548, 550, 564, 566</p> <p>3. ロマン派、現代のオルガン作品から任意の1曲 ※試験当日以前にレジストレーションのための若干の練習時間を与える。 ※アシスタント同伴の場合は、Web出願サイトの志願者情報入力画面に入力すること。 ※オルガンにはスウェル・ペダル及びフリーコンビネーション装置はないので注意のこと。 ※1~3のうち数曲を当日指定する。 ※暗譜の必要なし。</p>
	チェンバロ	<p>(1) W.バードまたはJ. P.スウェーリンクによるファンタジア、またはG.フレスコバルディのカプリッチョの中から1曲</p> <p>(2) 任意のプレリュード・ノン・ムジレまたはトンボーを1曲</p> <p>(3) J.S. バッハ:イギリス組曲 BWV 806-811 または パルティータ BWV 825-830 より任意の1曲(全楽章)</p> <p>(4) 5分以内の自由曲(上記(1)-(3)の作曲家<u>以外</u>の作品とする)</p> <p>(5) 通奏低音 ※以下のa.またはb.から受験生が選択する。</p> <p>a. 以下の①または②の中から1曲選び、受験生が同伴する共演者とともに演奏する。</p> <p>① G.F.ヘンデルの通奏低音付きソロソナタから1曲(全楽章)を上声楽器(フルートやヴァイオリンなど)との2重奏の形で演奏する。なお、共演楽器がフラウト・トラヴェルソ、バロックオーボエ、リコーダー、バロックヴァイオリンの場合にはピッチをa1=415とする。また、モダンのフルート、ヴァイオリン、オーボエの場合には、a1=442とする。</p> <p>② C.モンテヴェルディまたはG.フレスコバルディの独唱と通奏低音のための作品(オペラの1場面を含む)5分以内。声種は問わない(移調は自由)。ピッチはa1=415とする。</p> <p>b. 当日課される数字つき低音課題を、1分程度の予見ののちに(上声部奏者なしで)チェンバロで演奏する。</p> <p>※楽器はフレンチ・モデル二段鍵盤チェンバロ(音域FF ~ f3、8' 8" 4、a1=415) ※暗譜の必要なし</p>

鍵盤楽器	伴奏	<p>次の(1)(2)のどちらかを選択すること。</p> <p>(1) 次のAB両方を演奏する。</p> <p>A. 次の①～③の中から1つを選択</p> <p>① モーツァルトのヴァイオリン・ソナタK.454またはK.526(全楽章)</p> <p>② ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたはチェロ・ソナタ(全楽章)</p> <p>③ ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ(全楽章) (ヴィオラとの共演でも可)</p> <p>B. 次の歌曲の中から1つを選択</p> <p>① モーツァルト: クローエに K.524</p> <p>② シューベルト: ガニューメント D 544 op. 19, no. 4</p> <p>③ シューマン: 『リーダークライス』 op. 39 よりno. 5「月の夜」</p> <p>④ ブラームス: 便り op. 47, no. 1</p> <p>⑤ ヴォルフ: 『アイヒェンドルフ歌曲集』より no. 3「秘めた愛」</p> <p>⑥ R. シュトラウス: 変わらぬもの op. 69, no. 3</p> <p>⑦ フォーレ: 月の光 op. 46, no. 2</p> <p>⑧ 團伊玖磨: 『わがうた』より「ひぐらし」</p> <p>(2) 次のAB両方を演奏する。</p> <p>A. 次の①～④の中から1つを選択</p> <p>① ブラームス:</p> <p>・もし私が帰り道を知っていたなら op. 63, no. 8</p> <p>・愛の歌 op. 71, no. 5</p> <p>・甲斐なきセレナーデ op. 84, no. 4</p> <p>・ぼくらはさまよい歩いた op. 96, no. 2</p> <p>・セレナーデ op. 106, no. 1</p> <p>上記の歌曲(計5曲)を全曲演奏すること。順番は自由。</p> <p>② R. シュトラウス:</p> <p>・セレナーデ op. 17, no. 2</p> <p>・矢車菊 op. 22, no. 1</p> <p>・黄昏の中の夢 op. 29, no. 1</p> <p>・愛を抱いて op. 32, no. 1</p> <p>・ばらのリボン op. 36, no. 1</p> <p>上記の歌曲(計5曲)を全曲演奏すること。順番は自由。</p> <p>③ フォーレ: 5つのヴェネツィアの歌 op. 58(全曲)</p> <p>④ 中田喜直: 6つの子どもの歌(全曲)</p> <p>B. 次の①～③の中から1つを選択</p> <p>① モーツァルトのヴァイオリン・ソナタK.454またはK.526 (第1楽章のみ)</p> <p>② ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリンまたはチェロ・ソナタ(第1楽章のみ)</p> <p>③ ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ(第1楽章のみ) (ヴィオラとの共演でも可)</p> <p>※(1)(2)とも暗譜の必要なし。演奏順序、繰り返しは任意。</p>
------	----	---

弦楽器 ※繰り返しは任意 ※暗譜で演奏すること	ヴァイオリン	1. パガニーニ：カプリスより任意の1曲 2. J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意のフーガ 3. 任意の協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む) ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	ヴィオラ	1. J. S. バッハ:無伴奏チェロ組曲または無伴奏ヴァイオリン・ソナタより任意の1曲 2. 任意の古典派協奏曲の第1楽章(カデンツァを含む) 3. 任意の近現代協奏曲の第1楽章 ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	チェロ	1. ポッパー：40の練習曲op. 73より任意の1曲 2. J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲より任意のプレリュード 3. 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章(カデンツァを含む) ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	コントラバス	ディッターズドルフ:コントラバス協奏曲 ホ長調 第1楽章(グルーパー版。カデンツァを含む) ※ソロチューニング、オーケストラチューニングいずれも可。
	ハープ	1. ヘンデル:ハープ協奏曲 変ロ長調 全楽章(グランジャンニー版) 2. 以下より1曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲1曲 ・サルツェード:古代様式による主題と変奏 ・グランジャンニー:狂詩曲
	クラシックギター	1. J. S. バッハ:リュート組曲より任意のプレリュード 2. ヴィラ=ロボス:エチュードより1曲 3. 任意のギター協奏曲より任意の1楽章

管打楽器	管楽器 (全楽器共通)	20分から30分程度の任意の独奏曲。時代様式の異なった複数の曲が望ましい。 ※ 暗譜で演奏すること。
	打楽器	20分から30分程度の任意の独奏曲。様式の異なった複数の曲が望ましく、1曲はピアノ伴奏付であること。 ※ 暗譜の必要なし。 ※ 演奏する楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと(製本はしないこと)。

室内楽	<p>●1グループの構成は、2名以上6名以内とする。全員が各々出願書類を提出し、曲目記入票に全員の氏名、楽器名等を記入すること。</p> <p>1. 20分程度の任意の曲(複数曲も可)。邦楽器については事前に問い合わせること。 ※ 暗譜の必要なし。</p> <p>2. 口述試問</p>
-----	---

声楽専攻

歌曲、オペラ、オラトリオより任意の4曲を提出し、うち3曲を以下の順で演奏する。

1. 任意の4曲のうち、1曲を志願者が選択する。
 2. 上記1を除く3曲より、当日本学が2曲指定する。
- ※ 全体で2か国語以上の作品を用意すること。
 ※ 歌唱部分の指示があった場合は、それに従うこと。
 ※ いずれも暗譜で演奏すること。

作曲指揮専攻

作曲	作曲実習 「芸術研究」 または 「応用研究」 を選択	<p>1. 楽譜による作品提出(注)</p> <p>①管弦楽曲 1曲(独奏、独唱を伴う協奏的作品も可)</p> <p>②室内楽曲 2曲(声楽作品を含む作品も可)</p> <p>※2022年12月16日(金)17:00までに①②の楽譜を以下の方法でデータ、紙媒体の両方を提出すること。 ・PDFまたはJPEG(JPG)ファイルにて入試課宛てにメールにて提出。 送信先: nyushi@tokyo-ondai.ac.jp 件名: 受験番号__氏名__科目等履修生作品提出 ・持参または郵送にて入試課に提出(製本はしないこと。原譜のコピー可)。 郵送の場合は簡易書留等追跡できる送付方法とし、提出期日までの必着とする(願書と同封も可)。 ※①②とも提出楽譜の大きさはA3までの印刷サイズとする。 ※①②とも1作品につき800字程度の作品に関する解説を添付すること。 ※作品表紙、解説に氏名及びタイトルを記入のこと。 (注)「応用研究」を受験する場合は、打ち込みを含む小編成の作品も可。</p> <p>2. 口述試問</p> <p>予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。</p>
指揮		<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴音: 旋律(単旋律、二声及び四声)の書き取り(四声は木管四重奏の録音による) 2. 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱 3. 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い 4. スコアリーディング(2管編成程度の管弦楽曲) 5. 指揮実技(演奏は2台のピアノによる) <ol style="list-style-type: none"> a) 初見曲 b) ブラームス:《交響曲第3番 へ長調》作品 90 <p>※ b)は暗譜で演奏(指揮)すること。</p> 6. 演奏実技(ピアノを含む任意の楽器を演奏)※声楽を含まない 7. 和声(バス・ソプラノ課題[中級程度] 90分) 8. 小論文(90分) 9. 口述試問

音楽文化研究専攻

ソルフェージュ	<p>1. ソルフェージュ実技試験</p> <p>a) 聴音(単旋律、対位旋律、四声体和声)</p> <p>b) 新曲視唱(各種音部記号による。ただしメゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く)</p> <p>c) ピアノによる初見演奏</p> <p>2. 実技試験:以下の①②のどちらかを選択すること。</p> <p>①器楽または声楽:自由なプログラムによる8分以上15分以内の演奏(志願者情報入力画面に、演奏実技名を入力してください。伴奏者が必要な場合は各自用意すること。出版されていない楽曲を演奏する場合は楽譜を提出すること)</p> <p>②楽譜による作品提出:任意の編成による作品2曲以上</p> <p>※②については、<u>2022年12月16日(金)17:00までに②の楽譜を以下の方法でデータ、紙媒体の両方を提出すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDFまたはJPEG(JPG)ファイルにて入試課宛てにメールにて提出 送信先: nyushi@tokyo-ondai.ac.jp 件名:受験番号__氏名__科目等履修生作品提出 ・持参または郵送にて入試課に提出(製本はしないこと。原譜のコピー可)。 ・郵送の場合は簡易書留等追跡できる送付方法とし、提出期日までの必着とする(願書と同封も可)。 <p>※提出楽譜の大きさはA3までの印刷サイズとする。 ※作品表紙に氏名及びタイトルを記入のこと。</p> <p>3. ピアノ実技</p> <p>上記2の①でピアノ演奏を選択しない者、及び②に該当する者。</p> <p>課題曲 J. S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集第 I・II 巻より任意の1曲(前奏曲とフーガ)</p> <p>4. 口述試問</p> <p>※2①、3は暗譜で演奏すること。</p>
多文化音楽	<p>1. 実技試験</p> <p>邦楽・古楽・民族楽器の任意の楽器による8分以上15分以内の演奏。</p> <p>2. 口述試問</p>

科目等履修生Ⅱ

器楽 声楽 作曲指揮	左記専攻の 各研究領域	<p>1. 筆記試験:音楽研究に関する小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分)</p> <p>2. 口述試問</p>
音楽文化研究	音楽学研究領域	<p>1. 筆記試験:音楽研究に関する小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分)</p> <p>2. 口述試問 (必要に応じて外国語能力に関する試問を行う場合がある。)</p>

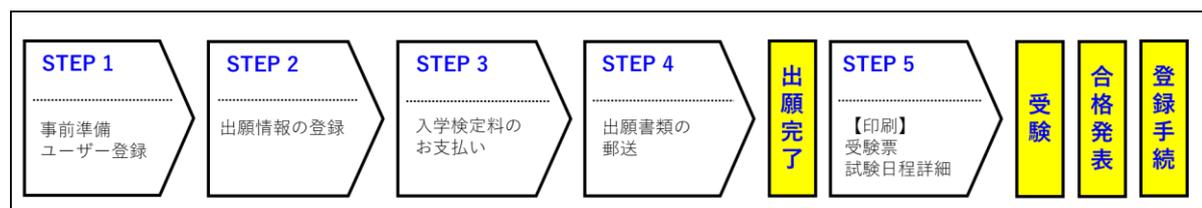
6 出願手続

(1) 出願の流れ

出願方法は Web 出願のみです。以下の流れに従って出願を行ってください。本学ホームページの「受験生の方へ」から Web 出願を選択し、下図手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

出願ガイド https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/	
--	---



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」参照）

- インターネットに接続しているパソコン・タブレット・スマートフォンのうち、いずれかの機器
- メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」「@contact.grapecity.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

- プリンター※
 - PDF 表示・印刷ソフトウェア
 - 本人写真(カラー写真データ)
- ※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を利用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

(「出願ガイド」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

STEP 3

入学検定料のお支払い（検定料 20,000 円）

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

- Web出願サイトから志願票、宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4判で印刷してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。
- 受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。
(出願書類ダウンロード:https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam)
- レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。レターパック

ライトはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

(1) 受験票・試験日程詳細の印刷

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認のうえ、試験会場にお越しください。

(2) 出願書類一覧

次頁の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付の上「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A. Web出願サイト」または「B. 出願書類ダウンロード」よりダウンロードして印刷してください。出願書類はA4判縦に入るよう印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイト」はこちらからアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



出願書類		注意事項	
1	志願票	上記AのURLから印刷してください (A4判縦に収まるよう印刷)	
2	宛名ラベル		
3	履歴書	上記BのURLから印刷してください (A4判縦に収まるよう印刷)	
4	曲目記入票 (実技試験受験者)		
5	楽器等使用一覧 (打楽器受験者)		
6	セッティング表 (打楽器受験者)		
7	予備質問書(1)(2) (「作曲実習」のみ)		
8	研究計画書 (科目等履修生Ⅱのみ)		
9	出願書類 チェックリスト		
			検定料支払い手続き完了後印刷してください。 ※カラー印刷してください。
			書類を郵送する際にレターパックライトに張り付けて使用してください。 ※カラー印刷してください。
		高等学校以降の学歴と音楽修学歴を記入してください。 音楽修学歴は師事した教師名および指導を受けた専攻、科目楽器等の名称を記入してください。	
		受験曲目を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。	
		使用楽器名を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。	
		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。	
		質問の答えを記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。	
		作成を予定している論文のテーマ、これまでの研究状況、これからの研究計画を本学所定の用紙に記入すること。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。	
		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。	

10	卒業(見込)証明書	在籍していた大学(学部、専攻科等)の証明書を提出してください。
11	成績証明書	
12	在留カード等身分事項のわかる書類のコピー	外国人出願者のみ提出。 在留カードの両面またはパスポート(氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限及びビザ(査証)のページ)のコピーを提出してください。
13	日本語学習経歴書	外国人出願者のみ提出。 様式自由(本学における研究活動に十分な日本語能力を有することがわかるもの)。日本語能力試験N1またはN2に合格している場合は、認定結果及び成績に関する証明書のコピーを提出してください。
14	東京音楽大学付属民族音楽研究所 社会人特別講座修了(見込)証明書	本学付属の民族音楽研究所の社会人特別講座修了(見込)者は、登録料が割引されますので、証明書を提出してください。

【注意】

●出願者全員

※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りです。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書および成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込の場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2022年12月16日(金)まで)
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合

●外国人出願者

※留学ビザ取得には、当該教育機関で1週間につき10時間以上受講することが必要なため、本学の科目等履修生は留学ビザを取得することができません。他の在留資格を得て、在留資格が明示されているものを必ず用意してください。

※登録後、他の学生と区別なく授業・レッスンを受けるのに十分な日本語能力(日本語能力試験N1またはN2程度)を有すること。

7 合格発表

2023年2月27日(月)15:00～3月1日(水)17:00に

本学ホームページへ掲載します。電話での問合せには応じません。

合格者には、合格通知書とともに、登録手続に必要な書類を出願時に登録された住所宛に郵送します。

上記の住所以外に送付を希望する場合は、入試課まで申し出てください。

8 問い合わせ先

【入試課】 (中目黒・代官山キャンパス1階事務室)

受付時間: 9:00～17:00 (日・祝日 除く)

直通電話: 03-6455-2754

※本学在学学生問合せ先

【教務課】 03-6455-2753

IV 登録手続

1 登録手続

登録手続の流れは以下の通りです。

(1)学費納入 → **(2)登録手続書類郵送** → **(3)登録許可**

(1) 学費の納入・期間

2023年3月1日(水)から3月11日(土)までに学費を一括納入するとともに、下記書類を入試課まで郵送してください。

※学費の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

※上記の期間内に手続を完了しない者は、登録の意志がないものとして合格を取消します。

(2) 登録手続に必要な書類

- ① 誓約書(本学所定の用紙)
- ② 住民票(3ヶ月以内のもの)
- ③ 学生証用写真(カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm)
- ③ 受験票
- ④ その他本学が提出を指示したもの

下記の者は、2023年3月25日(土)までに証明書を提出してください。学士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかに教務課にご連絡ください。

・2023年3月卒業見込者:卒業証明書及び成績証明書

・学位授与機構に学位授与申請中の者:学位授与証明書

※詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

(3) 登録許可

手続き完了の者には、直ちに登録許可書を交付します。

(4) 登録辞退

登録を辞退するときは、2023年3月30日(木)11:30までに入試課に申し出てください。

※室内楽研究領域はグループ全員が入学できなかった場合は、合格は取消しとなります。

2 学費

(2022年度・参考)

種別	専攻	研究領域	科目	登録料※ (初年度のみ)	受講料	合計 (初年度)
科目等履修生 I (音楽家養成コース)	器楽	鍵盤楽器	器楽実習	130,000円※	544,000円	674,000円
		弦楽器	器楽実習			
		管打楽器	器楽実習			
		室内楽	室内楽実習			
	声楽	独唱	声楽実習		272,000円	402,000円
	作曲指揮	作曲	作曲実習			
		指揮	指揮実習			
	音楽文化研究	ソルフェージュ	ソルフェージュ 研究実習			
多文化音楽		邦楽・古楽・民族楽器実習				
科目等履修生 II	器楽 声楽 作曲指揮	各研究領域 (音楽学を除く)	論文作成	40分/回 200,000円	200,000円	
	音楽教育	音楽学	音楽学実習			80分/回 400,000円

※科目等履修生 I : 本学出身者または民族音楽研究所社会人特別講座修了者の登録料は100,000円とします。

*科目等履修生には「科目等履修生証」を交付しますが、通学定期券の購入及び旅客鉄道学割証の利用はできません。

V 個人情報の取り扱いについて

1 個人情報の取り扱いについて

願書提出時に提供いただく「氏名、住所(連絡先)、その他の個人情報(以下、個人情報)」は、選考並びに試験の可否案内・登録手続の連絡を行うために使用します。

なお、合格された方の上記個人情報につきましては、登録後は登録時に提出いただく学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

2 個人情報の管理・保管について

本学は、受験生の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、受験生の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

東京音楽大学

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

【中目黒・代官山キャンパス】

- J R 山手線「恵比寿駅」より徒歩約 14 分
- 私鉄 東急東横線「代官山駅」より徒歩約 5 分
- 東急東横線「中目黒駅」より徒歩約 5 分
- 地下鉄 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約 5 分

【池袋キャンパス】

- J R 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約 15 分
- 私鉄 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約 15 分
- 都電 都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約 5 分
- 地下鉄 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約 15 分
- 副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約 5 分
- 有楽町線「東池袋駅」より徒歩約 15 分

〈アクセス〉

